

---

# K氏の話

西安

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

K氏の話

### 【コード】

N8044U

### 【作者名】

西安

### 【あらすじ】

K氏はいたって普通の会社員だった。

宝くじで億万長者になるまでは。

**(前書き)**

ちよつとしたショート・ショート。内容は完全にシニールです。

星新一さんの作風を真似てみました。暇つぶし程度にどうぞ。

## 「K氏の話」

K氏はいたって普通の会社員だった。宝くじで億万長者になるまでは。

まずK氏は会社を辞めた。うるさい上司、面倒な同僚たちと離れたかったからだ。

次に豪邸を買った。今まではアパートの一人暮らしで不自由だったのが元だ。

しばらくしてK氏のことがつわさになってくると、K氏の元へ女たちが擦り寄ってきた。

もちろん財産目当ての女ばかりだったが、それでもK氏はある女と結婚した。

その後、色々なところへ旅行に行った。日本だけでは飽き足らず、世界一周もした。

次は色々なものを買った。巷で噂になっているものを全て買った。

それに飽きてくると、今度はギャンブルに手を出した。

競馬、競輪、競艇、パチンコ、スロット、株、為替。

専門家を雇ってやったものだから、これが大当たり。金が増えるば

かりだった。

その金で、会社を設立したら良いという話を聞いて会社を建てた。

最初は小さな会社だったが、何故か業績が上がっていった、どんどん大きくなった。

その分の利益は、K氏の財布の中に溢れんばかりに入っていた。

パーっと使おうと思って、グルメに手を出した。

世界最高級の食材やらを買い求めて、それを五つ星のシェフに作らせた。

でもそれも腹が一杯になって飽きて、しばらくして止めた。

K氏の会社は既に一流の企業になっていた。社長をするのが面倒だったので代理を立てた。

今度は骨董品のコレクションをしようと思って、世界中の骨董品を集めようとした。

雇った骨董品の専門家が買ってきた骨董品の中に、プレミアがつくものがあった。

それをまた売って金にした。相当高く売れて、その金は会社に送った。

会社がどんどん大きくなっていった。世界をまたにかける大企業となった。

そのあとで、政治家たちがK氏の元へやってきて、賄賂を贈った。

K氏はその分だけ政治家の宣伝をしてやった。

それがバレても、マスコミを味方につけていたので揉み消した。全く問題は無かった。

ただ、その事を不満に思った輩がK氏を暗殺しようとした。

これは危ないと思って、身の回りを固めた。軍隊みたいな警備をおいた。

そうして安心していたら、K氏の妻が財産を持って夜逃げをした。

これもまずいと思って、絶対に空かない金庫を買った。

でもここで裏切り者があらわれた。軍隊みたいな警備隊たちが夜分に財産目当てに裏切った。

あわてたK氏は、信用の置ける部下と一緒にヘリコプターで逃げた。

財産は全て絶対に空かない金庫の中に入れたままにしていた。

命が危ないと言われて、偽名を使ってしばらくは世間に出ないことにした。

ほとぼりが冷めてから、K氏が豪邸へ行っても追い返された。部下もいなくなっていた。

金が無いとどうしようもないので、K氏は会社に勤める事にした。

うるさい上司と面倒な同僚がいる会社だった。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8044u/>

---

K氏の話

2011年10月9日09時08分発行